



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2017年8月5日(土) 9時00分～12時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／4名、事務局／1名、計／5名

● 午前

今日の金ヶ崎公園は、真夏の暑さに包まれました(明石の最高気温:32.8℃)。その中でエコウイング会員4名と事務局1名が活動に集まりました。熱中症が心配されることから、高温の中での作業を避けるため、また午後は他の予定がある会員が多かったために、午前中の昆虫観察だけを実施して活動を終了することにしました。

※ ナラ枯れ被害の拡大

金ヶ崎公園では、昨年の夏にコナラやアベマキの木にナラ枯れが発生しました。市の緑化公園課が、原因となる「カシナガキクイムシ」の防除のために、公園内の大径のコナラやアベマキの木の幹に「カシナガホイホイ」と呼ばれる捕獲シートを巻いて対策を進めています。

しかし、今日の昆虫観察の途中で数本の木の葉が枯れていて、幹から木の粉が落ちているのを見つけました。いずれも、防除対策のシートが巻かれていない木です。ナラ枯れの被害がどんどん広がっていて、心配されます。

- 次回の活動は9月2日(土)の予定です。少しは秋の気配を感じられるようになっていることが期待されます。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



新たにナラ枯れが発生したコナラの木。幹から木の粉がたくさん落ちてきています。カシナガキクイムシの防除シートが巻かれていない木です。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園の昆虫観察で確認し、撮影した昆虫などを紹介します。今日の金ヶ崎公園は真夏の暑さの中で、セミやチョウ、ガ、トンボ、コウチュウなどのなかまを色々と観察できました。特に昆虫では、アブラゼミやクマゼミがたくさんいて「セミのなる木」もありました。

また、これまで観察の記録がなかったチョウの「コムラサキ」が姿を見せてくれました。ハチのなかまがバツタを捕らえている姿も観察できました。

アブラゼミ



クマゼミ



セミのなる木:この写真の中に17匹のクマゼミが写っています



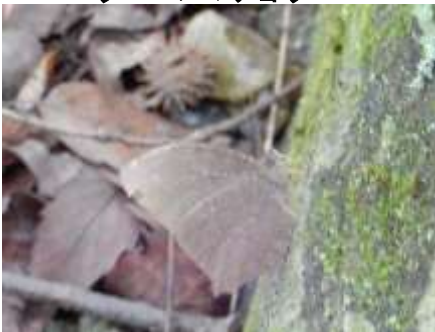
ヒメジャノメ



ムラサキシジミ



クロコノマチョウ



ルリシジミ



コムラサキ

アサマイチモンジ





MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ムラサキシタバ



シタバのなかま



キノカワガ



ミノムシ(ミノガの幼虫)



オオシオカラトンボ(オス)



オオシオカラトンボ(メス)



シオカラトンボ(オス)



シオカラトンボ(メス)



ウチワヤンマ



エントツドロバチ



ミカドジガバチ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

クロアナバチ



バッタのなかまを捕らえたクロアナバチ



ニイニイゼミの抜け殻に
止まったアオバハゴロモ



ハラビロカマキリの幼虫



オオカマキリの幼虫



触覚の長いコロギス



樹液に集まるシラホシハナムグリとカナブン





MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その4)

ヨツスジトラカミキリ



オオナガコメツキ



その他の生きものでは、アマガエルやトノサマガエル、タカチホヘビと思われるヘビ、獲物の虫を捕らえたトカゲ、カタツムリなどを観察しました。植物では、クサギの花が咲いていました。野鳥は、あまり姿を見せませんでした。

アマガエル



トノサマガエル



タカチホヘビ?



獲物の虫を食べるニホントカゲ



カタツムリ

